

研究主題

文字を大切にし、生きる力を育む書写学習
～主体的に学び、共に高め合う書写学習～

過 程	学習活動
つかむ	学習のめあてをつかむ
高める	練習書きをする 教材文字を見ながら、めあてに沿って練習する
	個別のめあてを立て、めあてにあった練習方法を選び練習をする 【練習の例】 ・分解文字 ・水書用紙 ・重ね文字 ・練習用紙 ・カゴ文字 ・ほね文字 ・砂文字 ・なぞり文字 ・外形確認棒 ・打っ立て付き文字 ・動画 など
確かめる	めあてを確認してから、まとめ書きをする。 練習書きとまとめ書きを比較して、自己評価する。 互いの作品を相互評価する。
生かす	次の学習や生活に生かす。 次の自己のめあてを考える。

主体的・対話的で深い学び

指導の個別化

同じ目標で一定の成果を求める過程

学習の個性化

異なった目標（方法）で、学習を広げる

個別最適な学び

協働的な学び

個別最適な学び

学習過程の中で、基礎基本の徹底を重視した『指導の個別化』と個人の進度や能力、興味関心に応じて学習を進め広げる『学習の個性化』を最適に組み合わせ、『個別最適な学び』が孤立した学びにならないよう、多様な価値観を取り入れる『協働的な学び』の場面を設け、その学びをさらに『個別最適な学び』に還元しながら、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実することで、指導の質を高める授業づくり（＝授業改善）に取り組む。